

環境科学A

〔例題1〕 国が開催する国・地方脱炭素実現会議において、令和3年（2021年）6月に策定された「地域脱炭素ロードマップ」に関する次の文章の空欄ア～エに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

全国の各地域では、少子高齢化に対応し、強み・潜在力を生かした自律的・持続的な社会を目指す〔ア〕の取組が進んでいる。地域脱炭素の取組も、産業、暮らし、交通、公共等のあらゆる分野で、地域の強みを生かして〔ア〕に寄与するように進めることが重要である。

そのためには、特に地域〔イ〕の導入拡大が鍵となる。地域で利用するエネルギーの大半は、輸入される〔ウ〕に依存している中、地域の企業や地方自治体を中心になって、地域の雇用や資本を活用しつつ、地域資源である豊富な〔イ〕等のポテンシャルを有効利用することは、地域の〔エ〕の改善につながることを期待できる。

ア	イ	ウ	エ
1. 地方創生	再エネ	化石資源	経済収支
2. 地方創生	再エネ	森林資源	生活の質
3. 地方創生	省エネ	化石資源	経済収支
4. 地域再生	省エネ	森林資源	生活の質
5. 地域再生	新エネ	化石資源	経済収支

【正答1】

環境科学A

〔例題2〕 ダイオキシン類に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

ア．水に溶けやすく、脂肪には溶けにくいという性質を持っている。

イ．炭素・酸素・水素・塩素を含む物質が熱せられるような過程で自然にできてしまう副生成物である。

ウ．国及び地方公共団体が、全国の大気、水質（水底の底質を含む。）、地下水質及び土壌のダイオキシン類に係る環境調査を行っている。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	正	誤
3.	正	誤	誤
4.	誤	正	正
5.	誤	誤	誤

【正答4】

環境科学A

[例題3] 「世界自然遺産・知床の日」に関する次の文章の空欄ア～エに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

知床は[ア]において流氷が接岸する[イ]であり、この流氷の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながりが高く評価されて、世界自然遺産に登録されたため、知床の豊かな生態系を支える出発点として重要な意味を持つ「流氷」にちなみ、遺産登録年([ウ])の知床における流氷接岸初日の[エ]を「世界自然遺産・知床の日」とするものである。

	ア	イ	ウ	エ
1.	北半球	南限	平成17年	2月1日
2.	北半球	南限	平成17年	1月30日
3.	北半球	東限	平成19年	2月1日
4.	南半球	北限	平成17年	1月30日
5.	南半球	東限	平成19年	2月1日

【正答2】

環境科学A

〔例題4〕 エゾシカの生態的特性に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア．ニホンジカの亜種の中で最も大型で、秋の体重はオスジカで150kg、メスジカで90kgを超える。
- イ．2歳以上のメスジカの妊娠率は、極めて高く90%を超え、更に近年の暖冬の影響などで自然死亡する割合が低下しており、捕獲されないなどの条件下では、年率15～20%程度の高い増加率（4～5年で2倍に増加）を示す。
- ウ．林縁を主な生活場所とし、ほとんどの植物を食べる幅広い食性を持つことから農林業被害を引き起こしやすいほか、生息密度が極めて高くなると、植生の著しい退行など森林生態系や湿原生態系に大きな影響を与える。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	正	誤
3.	正	誤	正
4.	誤	正	誤
5.	誤	誤	正

【正答1】